



コーホート

15年目のHop! Step! Jump!

ちやぶ台次世代コーホート通信第2号
 山口大学教育学部（ちやぶ台方式教職研修部）
 ちやぶ台次世代コーホート事務局
 山口県山口市吉田1677-1
 TEL：083-933-5399

第2回は「Basic course」の単独開催！テーマはGIGAスクール構想！

11月6日の午後、本年度第2回のコーホート研修会を対面で山口大学教育学部21番教室にて開催しました。今回の研修会のテーマは「GIGAスクール構想」。参加者は、受講生37人（若手教員8人、学生29人）、大学教職員4人、県教委1人、やまぐち総合教育支援センター3人、講師3人、計48人でした。第1回と違って、Advanced courseのメンバーとは別で単独開催で行いました。山口県においても、ICT環境を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、子どもたちの可能性を広げる「やまぐちスマートスクール構想」が推進されています。講師のお話をお聞きしながら、自分たちに何ができるかを考えていきました。



テーマ 「GIGAスクール構想が目指すものとは」

講師 やまぐち総合教育支援センター 情報教育班 班長 佐伯 英哉さん



受講者の感想より

やりたいこと、やってみたくことがたくさん増えました。しかし学校でできること、できないことがあることも感じました。できることをやってみてICTの活用を推進していきたい。（小学校教諭）

これまでは授業でどのように使えばよいのだろうと思っていただけ、授業以外で使うことから始めればよいと聞いて、ICT活用の見方が一気に広がった。学校生活の中で使えそうな場面ではどんどん使ってみたい。（小学校教諭）

「GIGAスクール構想」が求められるようになった背景についてきちんと考えたことが無かったのでとても納得しました。今教員が育てる子どもたちは「未来を担う大人なのだ」ということを常に念頭に置いておかなければならないのだと強く感じました。一方で「授業を分かりやすくするためのICT」と捉えてきたので、「文房具としてのICT」という考え方には目から鱗でした。現代の私たちがスマートフォンを欠かせないものとしているように、アカウントをなくてはならないものにならなくてはならないのだと改めて感じました。さらにペーパーレスになることは、前回のコーホートで学んだ「SDGs」にも影響を与えるのではないかと思います。新幹線と在来線の例えが出てきましたが、ICTを活用することで従来の学びでは得られない学びを得ることができるのだろうなと感じました。ICTを活用する時、ただ何となく使うのではなく「これを活用することで子どもにとってどのようなよいことがあるか、子どもにどのような学びを提供できるのか」ということを常に考え続けるようにしたいと考えました。

（大学3年生）

テーマ 「子どもたちの豊かな学びを生み出すICTの活用」

講師 鹿児島県阿久根市立尾崎小学校 教頭 山口 小百合さん
東京都調布市立多摩川小学校 指導教諭 庄子 寛之さん



先進的なお取組をされているお二人の先生から、ICT活用に関わる実践事例を具体的にお聞きすることができました。山口先生には小規模校におけるお取組、庄子先生には大規模校におけるお取組を中心にご紹介いただきました。

受講者の感想より

まずは積極的に、あらゆる場面においてICTを使用していくことが重要であると感じた。そして、使用後に、「その使用法は正しかったか」「その活用方法は適切かつ効果的であったか」というように、効果を確認することで、時と場合に応じた活用方法を見出していきたい。
(小学校教諭)

ICTの便利さだけではなく、その先にある子どもたちの豊かな学びまでのつながりを知ることができた。それらのデバイスをいかに生かすかが、今後問われてくると思った。今まで以上に学び続ける必要性を痛感した。
(大学4年生)

観を
アップデートしていく
必要性に気付くことが
できました！

タブレット端末を活用した、授業実践などを学ぶことができました。授業で活用できそうなアプリや、普段使っているアプリの活用事例などを知ることで、私が普段使っている機能はまだほんの一部だということに気がきました。管区によって、端末や使用するアプリが違うので、「今私が使っているタブレットでは何ができるのか」は、自分でやってみて見つけることが大切だと感じました。また、同僚の教員や同じ管区の同期と情報交換をすることで、タブレットの活用方法が広がると思いました。お二人の先生が明るく生き生きと講演されていたので、私も何かやってみようかなと前向きにな気持ちになりました。
(小学校教諭)

ピア・サポート 「豊かな学びを生み出すために」

本日の2つのご講演を通して学んだことをもとに、これから豊かな学びを生み出すために何が必要か、校種別に語り合っていました。



受講生の感想より



自分で学習を深めていくだけではなく、様々な方と意見を交わすことで、自分の学びが深まっていくことを実感しました。他の方の様々な目線からの意見を聞き、自分にはない着眼点を知ることができたため、自分の視野を広げることができました。また、自分の感じたこと、考えたことをアウトプットすることで、言語化する力や、自分の考えをまとめる力が身に付くのではないかと感じました。
(大学3年生)

他学科の人や院生の方、現場で働いている先生方から貴重なお話を聞けたり、意見交換を行うことができ、大変勉強になった時間でした。また、今回初めてちゃぶ台コーホートに参加しましたが、ちゃぶ台（今回は「えんたくん」）を囲み、意見を書き込んだり、言ったりすることはすごく楽しかったです。
(大学4年生)

話し合いの内容を文字で可視化できたのは有意義だった。話すうちに自分の考えがまとまっていく実感ができた。
(大学4年生)

